

經濟論叢

第195巻 第3号

梶山泰生教授退職記念號

献辞	依田 高典	
論 文		
意味的価値創造のための技術統合プロセス —ハウス食品の「こくまる」「プライム」カレールウ開発の事例—	長内 厚	1
製造業のソリューション・ビジネスにおける製品事 業とサービス事業の連続性.....	鈴木信貴・梶山泰生	21
海外子会社におけるトップの現地化がパフォーマンスに 与える影響—モデレーターとしての海外駐在員の派遣—	孫 徳 峰	39
ロードレース的技術進化のプロセス —日本のルームエアコン産業の事例研究—.....	中原 久美子	55
革新的技術の台頭とプロフェッショナリズムの変化.....	後藤 将史	69
産学連携における役割の決まり方 —発生学メタファーによる試論—.....	舟津 昌平	87
ニーズ概念の多層性及び計画性と創発性 —大学発ベンチャーにおける新事業創造過程—.....	渡部 暢	103
実践理論から見る新制度論のマイクロ・ファンデーション.....	張 益 民	119
グローバル競争力を取り戻す為の既存枠組を超える新アプローチ —子会社進化により組織改編を果たした日本企業の複数事例研究—	竹下 伸一	131

梶山泰生 教授 略歴・著作等目録

令和3年8月

京 都 大 学 經 濟 學 會

〔京都大学経済学会役員〕 (五十音順)

	スティーブン・E・アイブンス		高 梨 誠 之
	秋 田 祐 哉		竹 澤 祐 丈
	安 達 貴 教		田 中 彰
	天 野 良 明		アスリ・M・チョルパン
(評議員長)	砂 川 伸 幸	(学 会 委 員)	西 山 慎 一
	依 田 高 典	(主 任)	根 井 雅 弘
	江 上 雅 彦	(監 査 委 員)	長 谷 川 誠 憲
	岡 村 敏 弘		原 久 野 良 秀
	數 門 脇 友 也		松 野 井 啓 二
(学会委員)	菊 脇 谷 達 弥		文 富 井 大 貴
	北 田 真 樹		諸 安 柳 大 貴
	草 野 澤 隆 文		柳 野 内 剛 裕
	ケグハイッシュウイリ・ルースダン		矢 山 山 田 憲 一
	高 野 久 紀		山 坂 出 健 生
(学会委員)	坂 出 健 生		遊 喜 一 徳
(学会委員)	佐々木 啓 紀 明 生		劉 若 井 林 直
	澤 邊 哲 直 朗 人		若 若 林 林 直
	島 神 本 事 木 寛 倫		若 若 林 林 直
	鈴 関 口 倫 紀		渡 邊 純 純

— 既 刊 目 次 —

第 195 卷 第 2 号

徳賀芳弘教授退職記念號

献辞	江 上 雅 彦
論 文	
古代メソポタミア会計研究の意義と可能性	工 藤 栄一郎
米国における政府会計基準審議会 (GASB) の創設過程	大 石 桂 一
国際会計研究の新展開	
—先進諸国を対象とした定性的研究を中心として—	潮 崎 智 美
財務諸表監査の変革	
—KAMは日本の財務諸表監査を変えるか—	異 島 須賀子
退職給付に関する財務報告および開示の特性	小 川 淳 平
のれんの会計処理に関する実証研究レビュー	宮 宇 地 俊 岳
のれんの会計処理に関する文献レビュー	
—基準設定主体等による調査とその検討—	山 下 知 晃
非財務情報開示における「マテリアリティ」	
概念の現状と課題	本 川 勝 啓
Basu measure の誤謬	
—リターンの skewness によるバイアス—	大 日 方 隆
業績指標としての包括利益	
—米国における基準開発過程にてらして—	米 山 正 樹

徳賀芳弘教授 略歴・著作等目録

『経済論叢』投稿・執筆要領（抄）

2018年6月14日

京都大学経済学会委員会

3. 通常号の「論文」は、本学会会員、および本学会評議員の推薦がある非会員が投稿することができる。
4. 通常号の「研究ノート」、「書評」、「調査・サーベイ」は本学会評議員、および本学会評議員の推薦がある者が投稿することができる。
9. 本学会会員は投稿料を無料とする。本学会評議員の推薦がある非会員は投稿料10,000円を納める必要がある。ただし、依頼原稿等は投稿料を徴収しない。
10. 本誌に掲載された論文等の著作権は、経済学会に帰属する。したがって、他で当該論文等を使用する場合は、本学会の許諾が必要になる。
11. 本誌に掲載された論文等の全文をデータベース化し、京都大学図書館機構が運営する京都大学学術リポジトリ KURENAI に公開する。
14. 本学会評議員・名誉会員以外の者から、通常号の「論文」としての投稿があった場合は、レフェリー審査を行う。修士課程または博士後期課程に在籍する者の投稿論文は、論文執筆明細の指導教員の欄に署名がある場合に、レフェリー1名で審査を行う。上記に該当しないものは、レフェリーを2名とする。レフェリー審査に基づき、本学会委員会が掲載の可否を次のように決定する。(1) 掲載可 (2) 改訂の上、掲載可 (3) 改訂の上、再審査 (4) 掲載不可。レフェリー審査を受けた論文については、掲載時に「査読付き論文」である旨を明記する。
16. A4判横書き1ページ35字×30行で作成した投稿原稿の電子ファイル一式を、電子メールの添付ファイルで、投稿原稿の責任著者が経済学会事務局へ送付する。
17. 投稿者である責任著者は、本学会ホームページにある論文執筆明細をダウンロードし、論文執筆明細の電子ファイルを投稿論文の電子ファイル一式に添えて、経済学会事務局へ電子メールの添付ファイルで送付する。論文執筆明細には、日本語タイトルと氏名、英語タイトル、ローマ字表記氏名、所属機関、連絡先住所、電話番号、Eメールアドレス、および、投稿者が学生の場合は指導教員署名を記入すること。
18. 原稿は横書きとし、完全原稿であること。
20. 投稿論文の制限字数は下記のようにする。
論文：24,000字以内 研究ノート：12,000字以内 書評：8,000字以内 調査・サーベイ：34,000字以内
図版および表は1枚400字に換算する。
21. 論文の執筆には原則として現代かなづかい、常用漢字を用いる。

以上

執筆者紹介（掲載順）

長	内	厚	早稲田大学大学院経営管理研究科教授
鈴	木	信 貴	長岡技術科学大学大学院 情報・経営システム工学専攻准教授
相	山	泰 生	相山女学園大学現代マネジメント学部教授
孫		徳 峰	日本大学経済学部専任講師
中	原	久美子	京都大学大学院経済学研究科 ジュニアリサーチャー
後	藤	将 史	神戸大学経済経営研究所准教授
舟	津	昌 平	京都産業大学経営学部助教
渡	部	暢	茨城キリスト教大学経営学部助教
張		益 民	京都大学大学院経済学研究科博士後期課程
竹	下	伸 一	京都大学大学院経済学研究科博士後期課程

令和3年8月19日印刷
令和3年8月31日発行

編集兼
発行人

京 都 大 学 経 済 学 会

発行所

京 都 大 学 経 済 学 会
606-8501 京 都 市 左 京 区 吉 田 本 町
振替口座01090-6-17219番

制作発売

京 都 大 学 学 術 出 版 会
606-8315 京 都 市 左 京 区 吉 田 近 衛 町 69



9784814003631

ISBN978-4-8140-0363-1 C3333 ¥2272E

定価：本体 2272円(税別)



1923333022725

Keizai-Ronso

(THE ECONOMIC REVIEW)

Vol. 195, No. 3

August 2021

In Commemoration of the Retirement of Professor Yasuo SUGIYAMA

CONTENTS

Dedication to Professor Yasuo SUGIYAMA..... *Takanori IDA*

General Article :

Technology Integration Process for Creating Semantic
Values: Cases of House food's R&D *Atsushi OSANAI*

Continuity between Product Business and Service Business in Solution
Business of Manufacturing Industry..... *Nobutaka SUZUKI & Yasuo SUGIYAMA*

The Effect of Localization of Foreign Subsidiaries' Top on
Performance: The Moderator Role of Expatriates..... *Defeng SUN*

The Process of Technological Evolution as Road Race: A Case Study on Japanese
Domestic Air Conditioner Industry *Kumiko NAKAHARA*

Rising Disruptive Technology and Changing Professionalism *Masashi GOTO*

How to Decide Roles on University-Industry Collaboration?: A Trialogue ... *Shohei FUNATSU*

Multilayer of Need Concept, Planning and Emergence: New business Creation
Process in a University-Launched Start-up Company- *Nodoka WATANABE*

Micro-foundations of New Institutionalism from a Practical Theory Perspective
..... *Yimin ZHANG*

Out-of-Box Approach to Regain the Global Competitiveness: Multiple Case Study of
Transformational Models Achieved through Subsidiary Initiative by Japanese Firms
..... *Shin-ichi TAKESHITA*

Brief Biography of Prof. Y. SUGIYAMA / Bibliography of Prof. Y. SUGIYAMA's Works

Published

by

KYOTO DAIGAKU KEIZAIGAKU-KAI

(KYOTO UNIVERSITY ECONOMIC SOCIETY)